



広報

なかぐすく

Nakagusuku



No. 108
2007. 5.18

URL: <http://www.vill.nakagusuku.okinawa.jp>



施政方針と予算 p2 ~ p11

児童福祉週間 p12

世界遺産登録記念シンポジウム p14

中城村学力向上対策推進委員会だより p16

伝言板 p18

6月のカレンダー p19

フォトニュース p20

施政方針と予算

中城村議会の三月定例会が三月九日から開かれ、平成十三年度予算案などが審議されました。予算案では、一般会計予算と特別会計予算の合計額が初めて百億円を超えて提案され、原案どおり可決されました。議案審議に先立ち新垣村長は、「人と自然・歴史が織りなす明るく住みよい田園文化都市・中城」づくりのための施政方針を述べました。

新しいビジョンを掲げ、大きく飛躍し発展する年に

はじめに

本日、平成13年第2回中城村議会の開会に当たり、提案しております議案のご説明に先立ち、平成13年度の村政運営に当たっての私の所信の一端と、主要施策の概要を申し上げ、議員各位をはじめ、村民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

先ずはじめに今年には西暦2001年という新世紀を迎えた節目の年、21世紀の新しい「村おこし・まちづくり」のビジョンを掲げて、この歴史的な時代の転換期にふさわしく中城村が大きく飛躍し発展する年になすべく誠意取り組んで参ります。

中でも、中城城跡が、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして、時代を越え、世紀を越え、国境を越えて、世界文化遺産へ登録されましたことは、画期的な出来事であり、本村の歴史に輝かしい一頁

いと考えております。また長期間にわたって、休止してしました、登又ウフクビリ線の整備事業も平成11年度で再開することが出来ましたが、目下用地交渉もほぼ完了、着工前の住民説明会も終えて、いよいよ工事に着手する運びであり、平成13年度中には全線改良舗装できる予定であります。

県営中城公園整備事業も、基本設計の段階で二転三転しましたが、中城域内にある中城城跡を核とする中城公園は、やはり、中城村民に親しまれる公園でなければ、との姿勢を堅持して検討を重ねた結果、グスク博物館の位置づけや、中城村側からのアクセス、駐車場等に配慮した設計で推進されることになりました。

南上原土地区画整理事業も逐次推進しており、住宅地の販売（保留地処分）も開始され、徐々に新しいまちづくりの雰囲気が出てきました。不況のあおり等もあって保留地の販売も先行き不透明な状況であり、懸案となっております。

本村は7.5kmに及び海岸線に面しているながら、これまで有効に活用できずにいましたが、目下浜漁港北側に人工ビーチを備えたエコ・コースト事業が進行中であり、ほぼビーチの輪郭がわかるまでに突堤工事が進んでおります。

エコ・コースト事業は平成16年度完了を目途としており、この事業が完成しますと、吉の浦運動公園とむすんで、村民にきつと喜んでもらえるいいの場となるであろうと大きな期待を寄せております。

21世紀の開幕を告げる今年には、将来への展望をもって、本村の進むべき針路をしつ

が記されました。改めて貴重な国民的・世界的な文化財を育んだ先人の偉業を讃えると共に、この文化遺産の保存・整備・活用と後世に伝えていく責務の重大性とその使命感を痛感しているところであります。

さて一府二二省庁から、一府十二省庁に整理・統合した中央省庁の再編やIT革命が象徴するように今、国の内外を問わず、政治・経済など全ての分野において、大きな転換期にあり、希望に輝く21世紀を期待しながらも、現時点では依然として、閉塞感・不透明感のままの船出となりました。

県内においても、経済不況・倒産・失業の悪循環のさなかにあり、各面にわたる本土との格差は正を主要目標とする、三次にわたる沖縄振興開発計画も最終年次を迎えようとする今尚、失業率が示すように、目標達成には程遠い現状であります。

平成12年度は、こうした内外とも厳しい財政状況の中ではありませんでしたが、当初計画いたしました諸事業も、関係機関や議会の

かりと見定めなければならぬ大変重要な年であります。すなわち21世紀の本村のまちづくりの基本構想や基本計画のもとに、「とよむ中城・まちづくりマスタープラン」との整合性を図りながら地域特性を活かした「人と自然・歴史が織りなす明るく住みよい田園文化都市・中城」づくりを具体的に目に見えぬ形で推進して参ります。

県営中城公園整備事業もいよいよ工事に着手されますが、琉大近郊や区画整理地区と中城城跡を結ぶ歴史の道（グスクロード）も、平成14年度採択に照準をあわせて、現在実施設計の検討をしているところであります。

また、エコ・コースト事業も、排水路工事や一部養浜工事を実施する予定であり、懸案の中城ゴルフ場（仮称）誘致もいよいよ造成工事に着手される運びであります。

さて、国や地方公共団体の別なく、厳しい財政状況にありますが、本村も義務的経費が年々増大する一方、介護保険等でも施設介護や居宅介護サービス給付費の予想を上回る増高、区画整理事業や公共下水道事業、それにゴミ処理施設建設やゴミの5種分別に向けての対応など、かつてない厳しい財政運営に直面しております。

なお財政調整基金等の残高減少や将来の財政負担となる村債等を考慮して、一層の財政の効率化や事務事業の見直し等、行財政改革に鋭意努めているところであります。行財政改革を進めるかたわら、目下の当面する課題は、人件費の削減と国や県からの高率補助事業の導入であります。現在進められております防衛施設周辺防音事業に

ご指導と、村民各位の絶大なご支援・ご協力のもとにほぼ計画通りに推進することができましたことに對し、心から感謝申し上げます。平成13年度も、村政の基本姿勢に、「日本国憲法の精神と地方自治の本旨」を踏まえ、平和・人権・民主を基調に對話・活力・発展を村政運営の指針として、村民の負託に応えるべく全精力を傾注して参りたいと考えております。

また、現下の大きな課題であります、ゴミ処理施設「青葉苑」の改築も、ダイオキシン対策や財源対策上、避けては通れない、村民の生活に直結する重要な問題であり、平成15年度稼働に向けて、推進して参りたいと考えております。

目下、防衛施設周辺整備事業の導入が本格的に始まり、津覇・中城両小学校の全教室の防音・冷房設備工事が着手されました。今後、中学校・分校・幼稚園へと順次進めていけるよう計画し、要請していき

よる両小学校の全館防音・冷房施設の整備事業はその一例であり、これからも努力して参ります。いよいよ21世紀の到来です。21世紀に夢と希望のふくらむ「とよむ中城」プランは、歴史文化ふれあい拠点（中城公園）、都市文化交流拠点（南上原地区）、豊かなくらし・サービス拠点（吉の浦、エコ・コースト）を核として、工業集積地区、農業振興拠点地区などのサブ拠点を配したまちづくり構想であります。

優良農地を保全確保する一方、自然との共生、環境との調和を図りながら沿岸開発用地を求めていく必要があります。そのこととはまた、湾岸道路の建設と表裏一体をなすものと考え、中部市町村会の共通課題として提起し、要請活動を続けていくところでもあります。ともあれ、世界遺産の中城城跡の整備活用は、中城・北中城両村にとって重要な課題であり、経済効果はもとより、精神的・文化的価値をいかに高め、活用していくかを、短期・中期・長期的展望をもって展開していくことが重要であります。「世界遺産を核とした活性化推進協」（仮称）を立ち上げ、推進していきたいと考えております。

長引く経済不況の中で、きわめて厳しい財政状況ではありますが、活力に充ちた村づくりを一步一歩着実に進め、21世紀に躍動するとよむ中城を築き上げるため、誠心誠意頑張る参りますので、議員諸賢にはこれまで通り積極的なご助言とご協力をいただきますようお願い申し上げます。



本年度の主要政策
「とよむ中城」の村づくりの核となる三大事業の促進

中城公園整備事業の促進

自然・歴史・文化をテーマにした県営中城公園整備事業は、平成9年度から始まり、これまで環境調査やワークシヨップを基にした「中城公園基本設計」が「中城公園基本設計検討委員会」の中で慎重に検討され、その基本設計が出来上がった段階である。

中城城跡は、本村村民の精神的なよりどころであり、文化遺産として、また観光資源としても本村のシンボルであり、具体的な作業工程の中でも、常に県の都市計画課や中部土木事務所と連絡調整を重ねながら、中城公園整備事業に参画し、提言していく必要があると考える。

目下の関心事は、歴史性を重視し、中城間切歴史の道整備につなげるためにも、城跡正門から裏門に通じる方向での園路設計や、正門・裏門の管理棟の構造や配置においても、本末転倒の誤認のないよう注意を払っていききたい。

南上原土地地区画整理事業の推進

学園都市形成をめざして推進中の南上原地区の区画整理事業は、「とよむ中城」まちづくりの拠点として、鋭意築造工事、区画道路、物件補償及び上下水道の施設整備に努めているところである。

平成8年度に第一工区の築造工事を発注し、着手して以来、平成12年度までに工事件数として19件（10億5222万円）で、都計道路881m、区画道路5132m、宅地造成10・8haの工事を進めている。

平成13年度は、測量調査委託業務や、造成工事、区画道路や都計道路のほか物件補償等、約10億円の事業を計画し推進する予定である。

エコ・コースト事業の促進

エコ・コースト事業は、国の天然記念物に指定されているオカヤドカリの生息地を保全するエコゾーン等人間・自然・生物が共生する海岸整備事業である。

エコ・コースト事業は、平成9年度から着手しており、基本設計やゾーン配置も村民のいこいの場となるよう養浜をかなり広くした設計になっていて、平成11年度から着手された突堤工事第1、第2、第4突堤工事はすでに出来上がっており、平成12年度は第3突堤工事を施工し、平成13年度は、排水路工事とエコアツプゾーンの養浜工事等が予定されている。

「教育と文化の豊かな村づくり」の推進

教育条件整備と人材育成事業の推進

「中城とよむ塾」の充実、英語指導助手の小中学校への継続的配置、学力向上

役場庁舎建設への取り組み

庁舎建設検討委員会を設置し、先進地視察と情報や資料の収集、建設基金積み立て等を行い、庁舎新增築に備える。

湾岸道路建設に向けた取り組み

村独自の要請行動、中部市町村会の共通課題としての再度の要請行動、中城湾湾岸道路基本設計調査検討委員会の設置に伴う中城・北中城・沖縄・西原・与那原の五市町村の取組みの強化、庁内の関係課長で構成するプロジェクトチームの発足。また新たに、中城湾に面する北は勝連町から南は知念村に至るすべての市町村で構成する「中城湾湾岸長期整備構想検討委員会」も発足したところであり、関係市町村と連携をとりながら、継続的な要請行動を行なう。



「生産と喜びの活力ある村づくり」の推進

農業の振興

団体営緊急畑地帯総合整備事業による暗渠排水の整備と農業用水地下タンク設置、団体営津覇地区かんがい排水事業の貯水池の整備に着手する。

平成13年度の主な事業

【総務費】

- ・住民基本台帳ネットワーク導入事業
- ・評価替えに伴う鑑定作業
- ・沖縄県総合行政情報通信ネットワーク端末局設置事業

【民生費】

- ・更正医療費給付及び補装具給付事業

【衛生費】

- ・塵芥処理委託事業

【農林水産費】

- ・畑地帯総合整備事業
- ・団体営かんがい排水事業

【土木費】

- ・防衛施設周辺民生安定事業
- ・幹線市町村道未買収道路用地取得事業
- ・地方改善施設整備事業
- ・南上原土地地区画整理事業
- ・公共下水道事業
- ・村道側溝及び街灯設置工事
- ・村道城跡線道路改築設計委託事業

【教育費】

- ・津覇小・中城小学校防音工事事業
- ・中城城跡保存修理事業
- ・第5回文化まつり

対策と研究指定校事業の推進、教育用コンピュータ新整備計画による機種導入に続く双方向高速インターネットの整備・活用。また防衛施設庁の全額補助による防衛施設周辺防音事業を導入し、今年度中に、津覇・中城両小学校の防音・クーラー施設の完了を目指して工事に着手したところである。

「利便と快適の住みよい村づくり」の推進

道路・集落排水路等の整備

懸案となっていた一級村道・ウフクビリ線の改良事業が平成11年度から再開され、12年度までに用地・物件等の補償を行い、平成13年度中に全線の改良舗装の完了を目指して工事発注したところである。

村道・潮垣線の津覇から北浜へ通ずる寺原付近の整備も間もなく着手する予定である。

公共下水道事業の推進

平成13年度は津覇地区の実施設計と北浜地区の布設工事3438mを実施する予定である。平成14年度の供用開始により多くの世帯に接続できるよう事業を進めているところである。

健康・医療の拡充と社会福祉の充実

村民一人一人の健康の保持増進のための健康教育・健康相談・訪問活動の推



教育と文化の豊かな村づくり

1 人材の育成

発達段階に則した幼児教育・学校教育・社会教育の充実を図るとともに、生涯学習を進めるための教育条件の整備と学習機会の創出に努めて参ります。

2 コミュニティの育成

各種団体の組織活動をはじめ、地域に伝わる伝統芸能や行事の継承、まつりやイベントの開催によって、コミュニティの育成に努めます。

3 地域間交流の展開

吉の浦会館、吉の浦公園、村民体育館は昨今多種多様な交流拠点として活用されていますが、中城公園整備、中城城跡の世界遺産登録、エコ・コースト事業等が相まって、今後より一層の交流の場として活用されることが期待されます。

南米ブラジル、ペルー、アルゼンチンの海外移住者子弟研修生の受け入れ、中学生の海外ホームステイ、小学生の山形県の最上広域との交流等今後も継続して参ります。

また平成11年度から千葉県飯岡町との小学生交流事業をスタートさせたところではありますが、これは近い将来の姉妹都

市締結を目指す事業であります。

4 自然環境の保全

本村は、中南部都市近郊の中で、豊かな自然環境に恵まれた地域であります。自然との共生、環境との調和を図る上から、森林の保護・育成をはじめ、自然を大切にする村民の意識を高めるよう努めます。

また、家庭等から排出されるゴミ等の廃棄物やし尿および家庭汚水による環境汚染を防止する上からも、ゴミの5種類分別の徹底と下水道事業を促進いたします。さらに、平成14年12月1日から強化されるダイオキシンの排出量を基準値以下におさえるために、ゴミ処理施設の建設を平成13年度着工、15年度稼働を目途に推進しているところであります。

5 歴史的環境の保全と活用

本村は、国指定史跡の中城城跡をはじめ、護佐丸の墓、安里のテラ、新垣グスク、ペリーの旗立て岩、伊舎堂の三本ガジュマルや歌碑、台グシク、県道記念碑、泊の大クワディーサーなど多くの文化遺産が継承されており、歴史的環境に恵まれております。

この度の中城城跡の世界遺産登録を機に、城跡を核とした公園整備、公園内の「古墓群」の文化財指定、城跡の保存修復、発掘された出土品の展示施設、文化

財案内人の充実・強化等、世界文化遺産登録に伴う条件整備を順次進めることにより、歴史的環境の保全と活用に努めて参ります。

6 地域文化の育成

文化協会設立10周年記念事業への助成とともに、「文化まつり」も計画し実施いたします。

県指定無形文化財「伊集の打花鼓」をはじめ、「津覇の獅子舞」等多くの伝統芸能が継承されており、今後も村の各種まつりを通して、芸能文化の振興に努めます。

7 スポーツの振興

各種スポーツ教室の開催、村体育協会が主催する各種競技大会への助成と支援を行います。

また、小学校や中学校のサークル活動や部活動の活性化を図るための指導者の派遣や育成事業を今後も継続して参ります。

8 平和行政の推進

平和は人間生活の根源的条件であり、日本国憲法の目指す平和の確立に不断の努力が必要であると考えます。

戦争体験を風化させることなく、恒久平和の確立のため今年度も憲法講演会、

め、農村公園や児童公園等年次的に整備されております。また、県営中城公園事業も平成9年度から着手されており、県とともに事業促進に努めます。

6 上水道の充実

平成13年度の事業は南上原土地区画整理事業区域及び和宇慶集落内で配水管の新設改良2810mと消火栓4基設置、ウフクヒリ線地内配水管改良45m、下水道工事に伴う配水管仮設復旧545mを実施いたします。

給水栓数、給水量の伸びは見込まれるものの、給水収益は厳しいものがあり、維持管理の徹底、諸経費の節減等を行い、経営努力を行ってまいります。

7 下水道の整備

平成13年度は、北浜・南浜地内3438mの下水道管布設工事を実施いたします。

8 健康医療の拡充

成人病が生活習慣病と言われるように、疾病の発病や進行に生活習慣が深く関与していることに鑑み、食生活・運動・休養等の日常生活の改善が図られるよう、健康教育・健康相談・訪問活動を推進して村民の健康づくりに努め、保健サービスの維持・向上を図ります。



教育と文化の豊かな村づくり

1 人材の育成

発達段階に則した幼児教育・学校教育・社会教育の充実を図るとともに、生涯学習を進めるための教育条件の整備と学習機会の創出に努めて参ります。

2 コミュニティの育成

各種団体の組織活動をはじめ、地域に伝わる伝統芸能や行事の継承、まつりやイベントの開催によって、コミュニティの育成に努めます。

3 地域間交流の展開

吉の浦会館、吉の浦公園、村民体育館は昨今多種多様な交流拠点として活用されていますが、中城公園整備、中城城跡の世界遺産登録、エコ・コースト事業等が相まって、今後より一層の交流の場として活用されることが期待されます。

南米ブラジル、ペルー、アルゼンチンの海外移住者子弟研修生の受け入れ、中学生の海外ホームステイ、小学生の山形県の最上広域との交流等今後も継続して参ります。

また平成11年度から千葉県飯岡町との小学生交流事業をスタートさせたところではありますが、これは近い将来の姉妹都

市締結を目指す事業であります。

4 自然環境の保全

本村は、中南部都市近郊の中で、豊かな自然環境に恵まれた地域であります。自然との共生、環境との調和を図る上から、森林の保護・育成をはじめ、自然を大切にする村民の意識を高めるよう努めます。

また、家庭等から排出されるゴミ等の廃棄物やし尿および家庭汚水による環境汚染を防止する上からも、ゴミの5種類分別の徹底と下水道事業を促進いたします。さらに、平成14年12月1日から強化されるダイオキシンの排出量を基準値以下におさえるために、ゴミ処理施設の建設を平成13年度着工、15年度稼働を目途に推進しているところであります。

5 歴史的環境の保全と活用

本村は、国指定史跡の中城城跡をはじめ、護佐丸の墓、安里のテラ、新垣グスク、ペリーの旗立て岩、伊舎堂の三本ガジュマルや歌碑、台グシク、県道記念碑、泊の大クワディーサーなど多くの文化遺産が継承されており、歴史的環境に恵まれております。

この度の中城城跡の世界遺産登録を機に、城跡を核とした公園整備、公園内の「古墓群」の文化財指定、城跡の保存修復、発掘された出土品の展示施設、文化

インターネット導入促進事業を取り組み、これまでの片方向の情報提供から村諸施設を結んだインターネットを構築し、行政情報サービス、公共施設情報、生涯学習情報等について双方向のサービス化に努めるとともに、事務の電子情報化を進め、来るべき電子自治体構想を目指し、事務処理の効率化と住民サービスの向上に努めます。

3 集落環境の整備

今年度は、エコ・コースト事業の促進、ウフクヒリ線改良舗装工事の実施、地方改善施設整備事業による北上原地区下水排水路の整備工事を実施します。

また、交通安全対策特別交付金事業により、反射鏡やガードレール設置工事を実施し、交通安全対策に努めます。

4 市街地の整備

琉球大学周辺の計画的な学園都市形成を目指して、南上原地区土地区画整理事業が進んでおりますが、平成13年度は、4・6mの築造工事、約1000mの区画道路、約650mの都市計画道路のほか物件補償16件を行う予定であります。

5 公園・緑地の整備

村民の健康づくり・体力づくり・ふれあい交流の場として吉の浦公園をはじめ



リハビリテーションやデイケア事業等を引き続き進めるとともに、精神障害者の当事者組織「がじゅまる会」への支援も継続して参ります。

中城村国民健康保険の被保険者の健康保持増進を図るための保健事業として、はり・きゅう・あん摩・マッサージ及び指圧の施術助成を平成12年度に引き続き実施します。

9 社会福祉の充実

福祉行政のさらなる拡充を図るために、社会福祉協議会をはじめ各種福祉施設・団体・民生委員・児童委員ボランティア団体等との連携を一層深め、推進態勢の確立に努めるとともに、地域福祉の充実・強化を図って参ります。

今年度は第一保育所、第三保育所に続いて第二保育所においても0歳児（生後6カ月以上）保育を実施します。

また、地域高齢者への重点健康教育を強化し地域ぐるみでの高齢者支援策を醸し出し、身近な地域での生きがいづくり、健康づくりの拠点づくりとしてふれあい事業を「当間・浜・南上原に続き北上原・奥間」を推進し、併せて医療費の抑制を図って参ります。

10 環境衛生の向上

本村は年々の人口増加傾向にあり同時に消費生活の多様化や生活水準の向上に

よりゴミの量もさらに増加の傾向にあり

ます。このような状況を打開し快適で潤いのある生活環境の創出のためにゴミの分別収集と減量化に努めております。

大量生産、大量消費、大量廃棄にさらえられた消費者のライフスタイルを見直し、必要に応じて事業者に対し製品の回収、リサイクルを求める国の目指すゴミの発生抑制と、住民への生ゴミ処理器の購入補助によるゴミ減量化、行政の5種類分別に応じた収集運搬、不法投棄防止のチラシ配布、立て看板の設置及びパトロールの強化等、それぞれの役割分担を明確にし村民一体となってゴミの減量化を図っていきます。

11 地域防災の確立

中城村地域防災計画に基づき防災に努めるとともに、公共施設等の耐震性構造による建設に努め、危機管理体制のあり方についても検討いたします。

12 消防・救急体制の拡充

消防・救急活動は、村民の生命、財産を災害から守り、被害の軽減化、未然防止等重要な役割を果たしております。

予防消防を第一に、予防活動の推進、消火栓等の整備及び職員の訓練等による資質の向上に努めます。

平成13年度は老朽化した県防災無線シ

ステムに替わり、高速大容量・多ルート・デジタル化による災害に強い信頼性の高いネットワークの構築を目指した県の更新事業に対応し、緊急時における確かな通信手段の確保を図り、消防・救急活動の強化に努めます。

13 交通安全対策の強化

交通安全推進協議会を中心に、関係機関や関係団体との連携を密にして、村民の交通安全思想を高めるとともに、村道整備、信号機、カーブミラー、街路灯、ガードレール等交通安全施設の整備に努めて参ります。

14 防犯対策の強化

犯罪のない明るい地域社会の創出のため、村民一人一人の防犯意識の高揚と青少年犯罪の未然防止のための夜間パトロールの実施、子供達を犯罪から守る「太陽の家」との連携強化など、今後とも防犯運動を展開して参ります。

15 女性行政の推進

各種女性行政施策の推進や村婦人連合会活動への支援等を引き続き行います。また、性による差別を受けることなく男女が個人としての尊厳が重んじられ、能力を発揮する機会が均等に確保されることが重要であり、平成11年度発足した女

性問題懇話会での調査研究を通じ、具体的方策を求め活動を強化して参ります。

生産と喜びの活力ある村づくり

1 農業の振興

農業の振興を図るために、生産基盤の整備、農業経営の向上、生産組織の育成、流通体制の改善に努めます。生産基盤の整備については、これまでも農業振興の主要施策として進めてきましたが、平成13年度は、引き続き団体管緊急畑地帯総合整備事業の暗渠排水の整備と農業用排水確保の地下タンクの設置をいたします。平成13年3月末で地下タンク二基が完了いたします。

また、団体管津覇地区かんがい排水事業も、貯水池整備を開始します。

さらに、さとうきび生産の機械化一貫体系の確立と優良種苗の確保、農業機械士協議会への支援、糖業振興策としての新ルネサンス事業への取組みなど、農業の振興策を講じて参ります。

2 林業の振興

緑化事業については、これまで年次計画で進めてきました。平成13年度は、約3.7㍏(2回分)の保育事業を実施いたします。

3 漁業の振興

漁業関連施設は整備されており、その利活用度を高めるとともに平成13年度も引き続き漁業組合育成補助、漁具購入補助、浮漁礁(バヤオ)設置補助を行い、沿岸漁場の整備と水産資源の涵養に努めます。

4 商工業の振興

村商工会を中心に企業効果を高める諸活動を展開している自助努力に対し、敬意を表しつつ、今年度も商工会への助成を引き続き行います。

5 観光・リゾートの振興

国の史跡指定である中城城跡は「琉球王国のグスクおよび関連遺産群」の核として、昨年の12月2日世界遺産へ登録されました。世界遺産への登録は、村民にとって大きな誇りと自信につながり、観光客等の大幅な増加が見込まれ、本村の観光振興と地域活性化に大きく貢献するものと期待しております。現下、「第三次基本構想」、「基本計画(前期)」の策定作業を進めているところであり、「都市計画マスタープラン」との整合性を図りながら世界遺産「中城城跡」を核とした「活性化推進協」を立ち上げて、観光・リゾートの振興に努めます。

行財政の確立

1 行政運営の確立

村づくりの将来像「平和で創意あふれるとよむ中城」実現のため村民参加の促進、地方分権社会や情報化社会に即した組織機構、職員の適材適所や人事管理の適正化、全庁ネットワークの整備による事務処理の効率化や行政サービスの向上を積極的に推進して参ります。

また、これまで行政ニーズの増大に対し職員のスクリップアンドビルドによって厳しい財政状況に対処してきましたが、引き続き厳しい財政状況にあり、更にスクラップアンドビルドに努め、増大する需要に応え福祉の向上に努めて参ります。

2 財政運営の確立

年々人件費、公債費等の義務的経費が増加し、財政運営が硬直化する中で、村税等自主財源の安定的な確保と財政基盤の強化のため、計画的・効率的な事務事業の執行、経常経費の削減に努め、効率的・効果的運営に努めます。村税等の徴収率の向上による自主財源の確保に努めると同時に一般行政経費の抑制、節減合理化に努め、効率的な財政運営に努めて参ります。

平成13年3月9日

中城村長新垣清徳

予算

当初予算総額は

101億4024万円



三月九日から開かれた中城村議会の三月定例会で、平成十三年度一般会計予算と特別会計予算が可決されました。

一般会計予算は、総額49億6,205万円で、前年度の当初予算と比べて7.6%の伸びとなった。

歳入は、地方交付税が17億2,855万円で、歳入全体の34%を占め、国庫支出金が9億3,969万円で前年度に比べ、61%の増。村税が8億5,586万円で3.7%の増となっています。

歳出では、教育費が11億5,230万円で歳出全体の23%を占め、前年度に比べ50%の増、民生費が8億5,856万円で全体の17%となっています。

特別会計は、国民健康保険が14億5,337万円、介護保険が8億4,873万円、老人保険が10億6,004万円、水道事業が4億1,853万円、公共下水道が4億3,631万円、土地区画整理事業が9億6,118万円となっています。

今年度の一般会計 当初予算の特徴

歳入においては、村税が3076万円、国庫支出金が8億7837万円、県支出金が7048万円、村債が8660万円の増に対し、地方交付税が9645万円の減になっています。

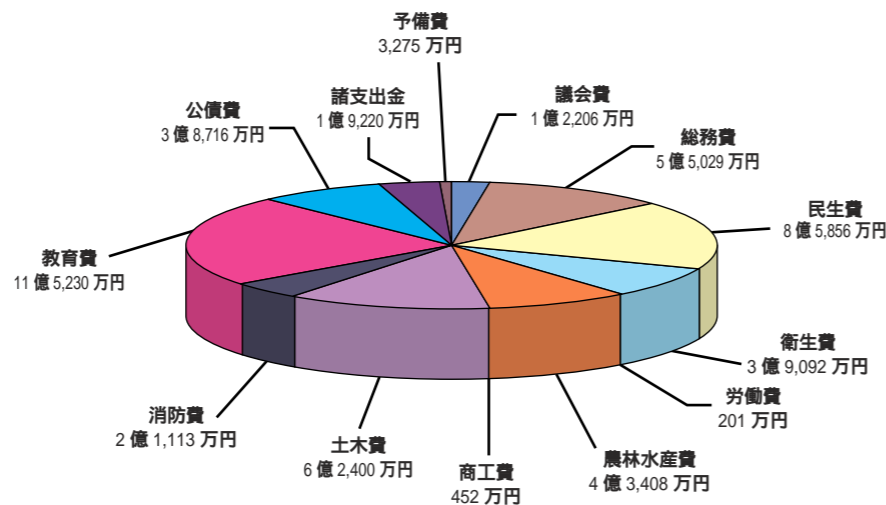
村税の3076万円の増は、村民税や固定資産税が4075万円の増に対し、徴収猶予対象に該当したことによる土地保有税の減によるものであります。

国庫支出金や県支出金の増は、津覇・中城両小学校の騒音防止工事や児童手当対象年齢引き上げ、また、和宇慶・津覇地区のかんがい排水工事による補助金の増によるものであります。

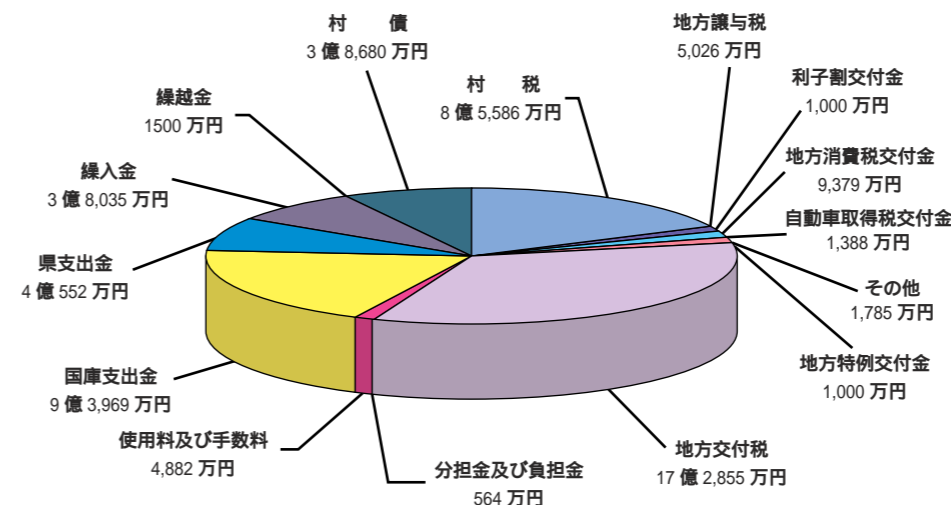
村債の増は、地方交付税算定の基礎となる需要額項目の廃止を補てんするため増であります。

歳出は、衛生費7219万円、教育費の3億8323万円の増となっています。衛生費の増は、「ごみ処理施設「青葉苑」の改築工事にかかる清掃事務組合への負担金の増が要因であります。教育費の増は、津覇・中城両小学校の騒音防止工事によるものであります。

一般会計歳出合計 49億6,205万円



防衛施設周辺整備事業による防音工事（津覇小学校）



一般会計歳入合計 49億6,205万円

村税... 村に納める村民税や固定資産税などの税金

地方消費税... 県が徴収した地方消費税収入額の二分の一を一定の基準で算出し市町村に交付するお金

地方交付税... 国が徴収した所得税等国税の中から県や市町村の財政需要の状況に応じて配分されるもので用途が特定されない

国庫支出金... 特定の事務事業の実施に資するため国が交付する給付金

繰入金... 一般会計、特別会計、基金等各会計間における現金の移動のこと

繰越金... 一会計年度から翌年度へ持ち越される剰余金をいい、繰越金の全部又は一部を財政調整基金等の基金に積立することもできる

村債... 村が行う建設事業等の財源に充てるため借り入れるお金

議会費... 議会議員の報酬や議会事務局に勤める職員の給料等

総務費... 特別職給料や総務関係職員の給料、事務委託料、基金への積立、選挙関係費用等村の総合的な事務に使われる費用

民生費... 社会福祉や児童福祉等に使われる費用

衛生費... 住民健診や乳児健診等の委託料、ごみ処理等にかかる費用

農林水産費... 農業委員の報酬や畑地かんがい排水の工事費、農業等振興団体への補助にかかる費用

土木費... 道路や河川、公園等公的施設にかかる費用や区画整理、下水道の特別会計への繰出にかかる費用

消防費... 中城北中城消防組合の負担金

教育費... 幼稚園・小学校・中学校の施設の管理や建設等、教育全般の事務や事業に使う費用

公債費... 村が行う建設事業等の財源に充てるため借り入れたお金の返済に使う費用



こどもの日を前に、こいのぼりが掲揚された。

どの子にも 夢と希望と 輝く笑顔

(2001「児童福祉週間」標語)

児童福祉週間

次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つことは、国民すべての願いであり、またそのような環境をつくることは国民の使命であります。

しかし、近年の児童を取り巻く環境は、少子化の進行や児童虐待の増加など大きく変化してきており、家庭や地域における子育て機能が低下するなかで、夢や希望をもちながら子育ての環境を整備することは、社会全体として取り組まなければならない課題となっております。

今年も五月五日の「こどもの日」から十一日までの一週間を「児童福祉週間」として国や市町村はもとより家庭、学校、福祉関係機関や社会全体が一体となって各種啓発事業や行事を展開してきました。

中城村においては、五月一日、こいのぼり掲揚式・保育所入所児童激



民生委員児童委員による危険箇所の点検（吉の浦海岸）

励訪問や遊び場、危険箇所（空き家）調査などを行いました。
こいのぼり掲揚式には村立保育所の園児60名余が参加。新垣村長は「こいのぼりのように元気に育ってください」と激励しました。

お社下「こいのぼり」を歌う園児たち



「おかわりもたくさんあるよ」と比嘉さん



沖縄そばを プレゼント

五月二日には中城村新垣で「中城そば屋」を営む比嘉さんが村立第三保育所の園児たちと村内の四保育所の園児たち一〇〇人を招き、沖縄そばをプレゼントした。比嘉さんによる沖縄そばのプレゼントは今回で十回目を数える。

瀬名波正侑健康福祉課長は「毎年、そばのプレゼントをいただき大変感謝しています。最初にこちそうになった子どもたちは高校生になっています」とお礼を述べました。

比嘉さんは「すすくと元気よく心のやさしい子に育ってください」とあいさつ。園児たちも「こいのぼりの歌」でお礼をしました。



津覇小で 一年生を迎える会

四月二七日、津覇小学校で全校生徒が参加し、一年生を迎える会が行われました。

六年生におんぶされ入場した一年生達に、二年生の歓迎のことばが始まり、五年生からのプレゼントや六年生との「大きさをくらべ、力くらべ」やゲームなどで楽しみました。

平識精光校長は「上級生の皆さんが一生懸命に頑張りました。皆さんも早く学校に慣れてください」とあいさつを行いました。



上級生とゲームを楽しむ新1年生

県営公園と 一体化した整備



佐渡山 実際に座喜味城跡の活用例はありますか。
新垣 演出をしていく上で大変参考になる。昨年中城中学校の三年生全員が父母と先

佐渡山 読谷村ではグスクを早い時期から活用していますが、

「ゆんたんざ村あしび」などが8年間にわたり展開されてきた。これから、中城、勝連とも交流を深めていきたいという構想を持って、先人達が作ったグスクを引き継ぐだけでなく、先人に学ぶものとして今に生きる私達が個性的な中部一体の文化を創造していくことにより世界遺産登録の意義があると考えています。

佐渡山 先ほど読谷村との連携ということで声がありました。
高原 中部圏で世界遺産が一体化すると同時に、世界遺産だけでなく「護佐丸の墓」、「尚巴志の墓」、「阿麻和利の墓」といった世界遺産に登録されていない遺跡も含めた一つの文化圏をつくることもできると思います。

佐渡山 ハード面の整備はどうなりますか。
新垣 出土品を公開する展示室、グスク博物館、世界遺産博物館などを県営中城公園と一体化した整備を進めたいと思います。
佐渡山 歴史ガイドなどの人材育成はどうしますか。

北中城村在住男性
新垣村長と喜屋武村長へお願いがあります。中城の築城や落城などの説明板を設置してほしいと思います。

の整備・復元と同時に読谷村の自立を目指すフォーラムが開催され、保存・整備するだけでなく活用しなければならぬという提案がなされた。平成3年、女優の照屋京子さんがシェークスピア劇の「夏の夜の夢」を座喜味城跡でやりたいとの申し出に諸手をあげて賛成し、以後座喜味城跡を「天と地と人が一体となる野外劇場」として位置づけ、数々のイベントを企画しました。「城オペラ」、「城組踊」、「ゆんたんざ村あしび」などが8年間にわたり展開されてきた。これから、中城、勝連とも交流を深めていきたいという構想を持って、先人達が作ったグスクを引き継ぐだけでなく、先人に学ぶものとして今に生きる私達が個性的な中部一体の文化を創造していくことにより世界遺産登録の意義があると考えています。

生方と共に総合学習の結果として「とよむ中城」という劇を演じました。グスクを総合学習の場として取り入れていきたいと思っています。中城城跡の三の郭の前は大きな広場になっています。有効活用によっていろいろな催しができると考えています。
喜屋武 県営中城公園の中に、複合文化施設が予定されている。願わくば「城トラライアングル」という中部広域圏の振興計画を活用したいと思っています。

他の地域へのアドバイスは。
長浜 イベントを支える村民の力やイベントを自ら行うふうにしてきたいという考えを持つことが成功の秘訣だと思います。特に気を付けたいのは文化財を損壊してはいけないということです。
佐渡山 活性化を考えた場合に多くの人を呼ぶ場所にした方がいいかあるか。
喜屋武 人は魅力のある所に集まる。魅力があるのに村民・県民が知らない所もあるので、きちつと情報を発信しなければならぬ。

フロアからの意見
石川市在住男性
新垣村長と喜屋武村長へお願いがあります。中城の築城や落城などの説明板を設置してほしいと思います。

基調講演

亀島 靖さん(環境芸術研究所所長)

パネリスト

新垣清徳さん(中城村長)

喜屋武 馨さん(北中城村長)

高元政秀さん(勝連町文化財保護委員長)

長浜真勇さん(読谷村文化センター課長)

コーディネーター

佐渡山美智子さん(フリーアナウンサー)

世界遺産登録記念シンポジウム



佐渡山美智子さん

「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の世界遺産への登録を記念したシンポジウムが4月26日、沖縄市で開催された。「琉球王国のグスク及び関連遺産群の過去・現在・未来」と題し、環境芸術研究所所長の亀島靖さんの基調講演で始まり、世界遺産が所在する四町村から四人のパネリストが参加し行われた。

「県下のグスクのメッカ」に

佐渡山 世界の宝になった「琉球王国グスク及び関連遺産群」をどのように活かしていけばいいのかが地域に根ざした活動を紹介しながら、共通の問題や夢を語っていただきたいと思います。

だろつと非常に大きな期待を持っている。整備・保存・活用については、世界遺産を核とした地域活性化推進協議会(仮称)を発足させ、歴史文化、自然の体験学習の場として、学校や地域社会で積極的に教材化し活用していこうと思います。中城城跡の「10景の写真コンテスト」や中秋の名月の時は「中城情話大会」などもやってみたいという夢を描いています。県下のグスクを総合的に学習できるグスクのメッカにしたいと思っ

て、護佐丸の志を次の世代に残そうと、文化協会を中心に村民劇「護佐丸の星」を上演した。又、中城城跡の周辺にある萩堂、大城の集落には昔からのたたずまいが残っている所である。そこに景観条例を制定し、美しい村を作ろうと取り組んでいます。
佐渡山 今度は歴史家の立場からの意見を伺います。

勝連城跡といわれ、出土したものの中には中国製の陶磁器など大変いい物があり、勝連城の按司の力がわかると思います。歴史の中で悪者にされている阿麻和利も勝連の城下の民からするとすばらしい按司だと評価されています。世界遺産登録を機会に「グスク研究所」を作ってほしいという思いがあります。

新垣 中城城跡は、沖縄における中央集権の確立に重要な役割を果たし、築かれた当時の遺構が最もよく保存されているグスクであるということが特徴としてあげられます。東西の海洋が同時に見渡せるという海上交通の盛んだった当時の時代背景に中城城が築かれた理由がある。又、一番すばらしいグスクであるが、発掘調査が遅れている。発掘調査が本格的に行われたら、いったい何が出土するの

が決定した瞬間は「先人達から大変な財産をもらったなあ」と思った。北中城村では世界遺産登録を契機に琉球の歴史にしっかりと目を向け

が、地域の人々にとっては、御嶽として、拝所として信仰の対象として生きている。そういう意味においては、本土の近世の城とは異なる。県内で本格的に発掘調査したのは

長浜 グスクの活用ということで話したいと思う。座喜味城を作った護佐丸は、私達に野外劇場として使ってくれと言わんばかりにこの空間を造ってくださったことに感謝しています。座喜味城跡は、沖縄戦においては日本軍が、戦後は米軍にレーダー基地として接収され、大きく破壊された。12年の歳月と、およそ4億2千万の資金が投じられ整備がなされた。座喜味城跡



長浜真勇さん



喜屋武 馨村長

中城村の情報教育

中城村教育委員会指導主事 真栄城 隆

平成14年(2002年)から完全実施される新学習指導要領では、情報教育が深化・拡大される。このため文部科学省は、平成13年度末までに教員すべてがコンピュータが操作でき、半数が授業に活用できるようにすることを目標にしている。

ところが、文部科学省の教員コンピュータ調査(平成11年8月)によると、県内の公立小中学校では、コンピュータでの文書作成やインターネット接続などの操作ができる教員は、小学校で39%、中学校で50%である。また、教育用ソフトなどを活用しながら授業でコンピュータを使って指導できる教員は、小学校で25%、中学校で21%という結果である。

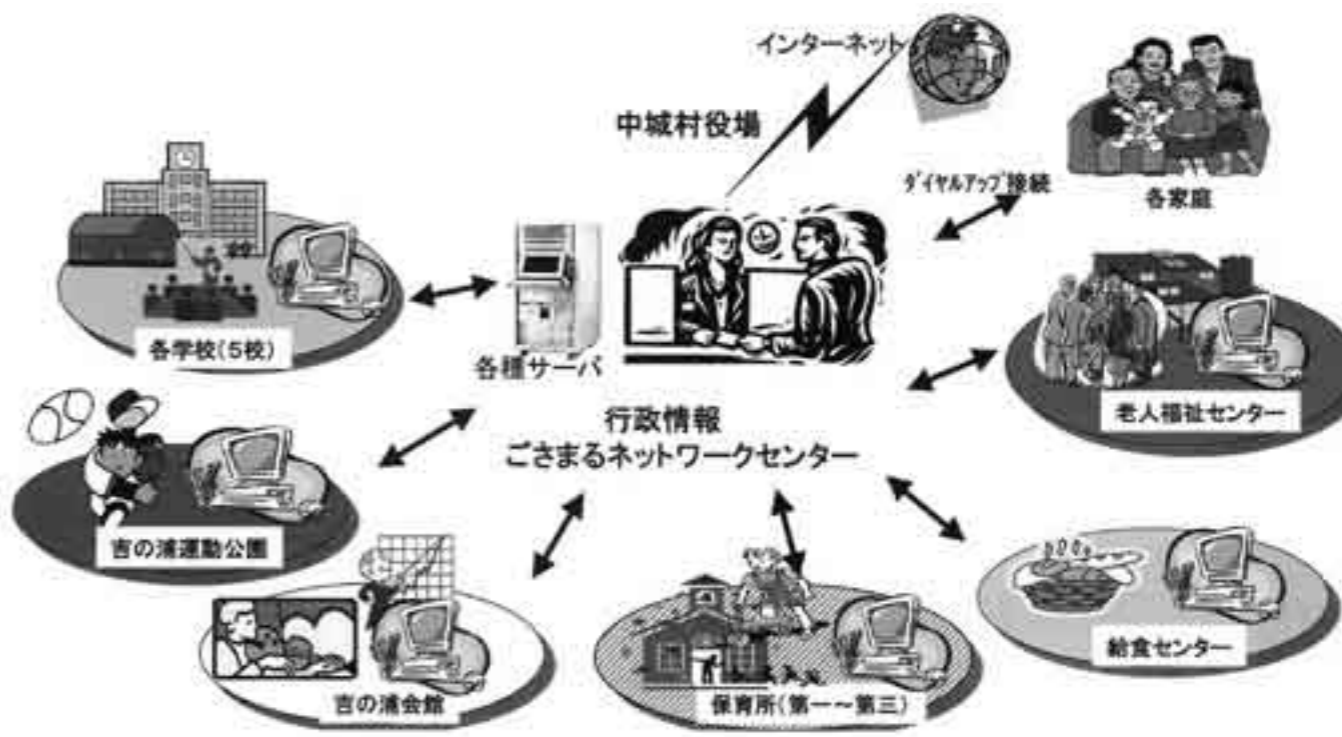
中城村教育委員会では、平成12年度緊急雇用対策の一環として、コンピュータ技術者及びコンピュータ操作技能の高い者を情報教育指導助手として雇い小・中学校3校に配置し、コンピュータが操作できる教員の技能の向上に努めてきた。その成果として、コンピュータが操作できる教員の割合が著しく伸びた。特に中学校では、平成12年3月に0%だったのが、平成13年1月現在70%と急激な伸びとなった。

しかし、小学校では平成12年7月に50%近くまで伸びたが、その後は横ばい状態である。パソコンが22台はあるものの、旧型のためインターネットが使えないことが影響しているようである。総合的な学習では、問題解決的な学習に取り組んではいないものの、子どもたちの興味・関心のあるインターネットで調べたいということには対応できない。

財政難のため、パソコン導入も遅れていると予想され、現在、企業等から寄贈してもらい、何台かインターネットが使えるようにしている。情報教育指導助手についても、学校側からは平成13年度も継続してほしいという要望がだされている。

そのような状況の中、21世紀に向けた新しい村づくりとして、中城村役場を中心とした、各学校、公共機関等にインターネットを活用した情報の送受信ができる環境を整備した情報の共有を図る「地域インターネット事業」が導入されることになった。そこで、教育委員会では、情報教育の目玉として今年度の重点目標に掲げて推進し、これからの高度情報化に対応できるよう、教職員の研修を充実したものにしていきたいと考えています。

地域インターネットのイメージ



赴任のあいさつ

よろしくお願い致します



中城中学校に四月一日付で赴任しました字奥間の伊佐盛信です。どうぞよろしく申し上げます。普天間中学校から希望しての異動で、思いがかなえられ喜んでおります。

実は、昭和六十三年一月一日から一年と三ヶ月を本校にお世話になっております。しかし、すぐの異動で心残りしておりました。その後、国立沖縄青年の家、県教育庁義務教育課、北谷中、普天間中を経て、やっと我が母校に戻って来ることができました。微力ながら本村の子ども達の教育に本腰を入れて頑張ってみたいと意を決しております。

教育は、優しさで厳しさのサジ加減だと言われます。家庭での子育ても父親の厳しさと母親の優しさをもって人間として育ちます。学校は子ども達がしっかりと自分の目標を持ち、自分の行動は自分の意志で決し、その行動の責任は自分でとれるような「自立した人間」を目指し、教育できればと考えております。村民のご支援をお願いいたします。

中城中学校

校長 伊佐 盛信



この四月、津覇小学校に七名の先生方と共に赴任しました。本校は、明治二十三年の設立ですから実に一〇〇年を数えます。永い年月と古きよき伝統を多くの先生方や、地域の方々がしっかりと守り育ててきた学校である。実績をひろってみると、全日本学校歯科保健優良校表彰において優秀校(文部大臣表彰)、日本学校歯科医からの表彰、交通安全推進活動、「花と緑の学校コンクール」での優良校、バレークラブやバスケットクラブ、自転車競技での活躍等多くの実績があります。また、PTA役員を中心とした「会活動」や地域の伝統文化・芸能も盛んと聞いて大変喜んでいきます。また、世界遺産「中城城跡」を有する緑の地で共に頑張っていくことをお誓い申し上げます。「つよい子ども」、「かしこい子ども」、「やさしい子ども」像をみざして頑張りますのでどうぞ皆様方のお力添えをたまりませんようよろしく申し上げます。

津覇小学校

校長 平識 精光



大きなガジュマルや沖縄戦のいたでを癒しつつ葉を広げているピロウなど三〇数年前の我が母校の名残をいくつか見つけ出し、懐かしさでいっぱいになりました。

一〇〇年の歴史と伝統ある津覇小学校に赴任できた喜びは、同時に四六二名の後輩たちに託すゆめに変わり、エネルギーとなっています。過去においては教育村で名を挙げ、今、中城城跡の世界遺産登録で脚光を浴びているとよむ中城です。松下村塾の記「ふるさとに腰を据えてがんばる・・・」を感慨深く反芻し、このチャンスがいただけたことに感謝しています。

あらゆる可能性を秘めた津覇っ子のよさを伸ばしつつ、何事にもチャレンジし続ける逞しい子どもたちを育む環境作りに校長の補佐役としてがんばっていきます。お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

津覇小学校

教頭 新垣 幸枝

中城とよむ塾

「文化財案内人コース」第一期生を募集

世界文化遺産「中城城跡」や中城村内の文化財の案内をしてみませんか！

七月に開講する第一期生を募集します。

詳しくは、六月五日よりチラシ等でお知らせ致します。



一期生の研修風景

【お問い合わせ】

中城村教育委員会
生涯学習課(人材育成係)

89516994

1 4月10日 金 先勝	村民プール開き 避難訓練(津覇幼稚園)	22 5月2日 金 赤口	住民健康診断 津覇 [受付:午前9時30分~11時] 胃検診あり [受付:午後1時30分~2時30分]
2 4月11日 土 友引		23 5月3日 土 先勝	慰霊の日
3 4月12日 日 先負	一般ソフトボール大会・ソフトテニス大会(体協) 南上原ふれあい事業 PTA作業(津覇小・中城小)	24 5月4日 日 友引	中城ブロック少年野球大会
4 4月13日 月 仏滅	ツペリクリン反応検査(吉の浦会館) 再ツ反[受付:午後3時30分~4時]	25 5月5日 月 先負	住民健康診断 北浜 [受付:午前9時30分~11時] 胃検診あり 南浜 [受付:午後1時30分~3時]
5 4月14日 火 大安	健康相談日[午前9時~11時] 役場 乳幼児健診(老人福祉センター) [受付:午後1時30分~2時30分]	26 5月6日 火 仏滅	奥間ふれあい事業 北上原ふれあい事業 健康相談日[午前9時~11時] 役場
6 4月15日 水 赤口	BCG予防接種(吉の浦会館) ツペリクリン反応検査を受けた者 [受付:午後3時30分~4時]	27 5月7日 水 大安	リハビリ教室(吉の浦会館)[午後1時30分~4時]
7 4月16日 木 先勝	3歳児健診(吉の浦会館) H9.10.6生~H9.12.7生[受付:午後1時30分~2時30分]	28 5月8日 木 赤口	住民健康診断 伊集 [受付:午前9時30分~11時] 胃検診あり 和宇慶 [受付:午後1時30分~3時]
8 4月17日 金 友引	リハビリ教室(吉の浦会館)[午後1時30分~4時]	29 5月9日 金 先勝	老人クラブ大会、レク大会(吉の浦会館)
9 4月18日 土 先負		30 5月10日 土 友引	
10 4月19日 日 仏滅		1 5月11日 日 先負	バレーボール大会(体協) 中城ブロック少年野球大会
11 4月20日 月 大安	住民健康診断 新垣 [受付:午前9時30分~11時] 胃検診あり 登又・物々 [受付:午後1時30分~3時]	2 5月12日 月 仏滅	
12 4月21日 火 赤口	住民健康診断 久場 [受付:午前9時30分~11時] 胃検診あり [受付:午後1時30分~2時30分]	3 5月13日 火 大安	健康相談日[午前9時~11時] 役場
13 4月22日 水 先勝	住民健康診断 伊舎堂・第2団地[受付:午前9時30分~11時] 胃検診あり 泊 [受付:午後1時30分~3時]	4 5月14日 水 赤口	
14 4月23日 木 友引	歯科検診(吉の浦会館) H11.6.15日生~H11.8.9日生[受付:午後1時~1時30分] H10.12.13日生~H11.2.14日生[受付:午後1時~1時30分] H8.12.13日生~H9.2.14日生[受付:午後2時30分~3時]	5 5月15日 木 先勝	
15 4月24日 金 先負		6 5月16日 金 友引	
16 4月25日 土 仏滅		7 5月17日 土 先負	
17 4月26日 日 大安	日曜参観日(津覇小・津覇幼稚園) バドミントン大会・卓球大会(体協)	8 5月18日 日 仏滅	村P連スポーツ大会(吉の浦)
18 4月27日 月 赤口	住民健康診断 屋宜 [受付:午前9時30分~11時] 胃検診あり 添石 [受付:午後1時30分~3時]	9 5月19日 月 大安	
19 4月28日 火 先勝	当間ふれあい事業 浜ふれあい事業 健康相談日[午前9時~11時] 役場	10 5月20日 火 赤口	健康相談日[午前9時~11時] 役場 南上原ふれあい事業 浜ふれあい事業
20 4月29日 水 友引	住民健康診断 安里 [受付:午前9時30分~11時] 胃検診あり 当間 [受付:午後1時30分~3時]	11 5月21日 水 先勝	精神保健デイケア(がじゅまる会)
21 5月1日 木 大安	住民健康診断 奥間・中城団地[受付:午前9時30分~11時] 胃検診あり 浜 [受付:午後1時30分~3時]	12 5月22日 木 友引	1歳6ヶ月健診(老人福祉センター) H11.11.18生~H12.1.12生[受付:午後1時30分~2時30分]

行事日程は変更することがありますので、あらかじめ確認してからお出かけください。

中城村の人口

平成13年4月末現在
人口 14,703 (96)
男 7,559 (53)
女 7,144 (43)
世帯数 4,775 (52)
()内は前月との比較

沖縄の年中行事(旧暦)

- 6月5日~6日(旧暦4月14日~15日) 群払い(アヅレ) 田畑の害虫を払う。部落全体でノロを中心に行う。
- 6月24日(旧暦5月4日) 四日の日(ヨカレ) 豊漁祈願で鹿船競漕(ルー)が各地で行われる。各家庭ではボーボーとチンピンが作られる。
- 6月25日(旧暦5月5日) 五月五日(ゲンガアガチ) 仏壇に、あまがしとしょうぶを供える。
- 7月5日(旧暦5月15日) 五月ウマチー(ゲンガアガチ) 稲の初穂祭。石垣島では米スクマ願いという。

STOP THE 不法電波

6月1日(金)~10日(日)
電波利用保護旬間
お問い合わせ 沖縄総合通信事務所
不法無線局 865-2308 混信・妨害 865-2309
受信障害 865-2307 電波利用料制度 098-865-2308

伝言板

村税の納期内納付について
今月(5月)は、平成13年度軽自動車税、固定資産税の納付月間となっていますので、納期限内に納付してください。納期外に納付していただきますようお願い致します。
なお、納期内に納付できない事情がある場合は、村役場税務課にて相談して頂きますようお願い致します。

税目	村県民税	固定資産税	軽自動車税
第1期分	7月2日まで	5月31日まで	5月31日まで
第2期分	10月1日まで	7月31日まで	
第3期分	11月30日まで	12月25日まで	
第4期分	1月31日まで	2月28日まで	

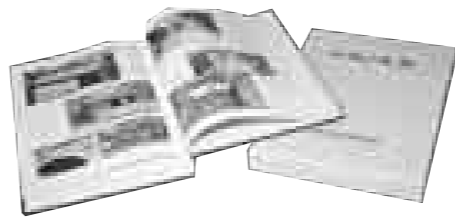
村税の納付には、口座振替をご利用下さい。
第1期内に一括して納付される方には、前納報償金制度が受けられます。また、各納期内に納付されずと納税奨励金が各自治会に交付されます。

中城村役場 税務課
89512131(242)

中城北中城消防組合職員採用候補者選定試験

職種区分...消防吏員 若干名
受験資格...昭和51年4月2日~昭和56年4月1日までに生まれた者で日本国籍を有する者
普通運転免許を有する者
救急救命士免許を有する者
試験日時...平成13年7月28日(土)
受付期間...平成13年7月11日~7月24日 午後5時まで
受付場所...中城北中城消防本部 総務課
【お問い合わせ】
中城北中城消防本部 総務課
098-935-4747

遺念火で燃えたガマク小



先祖達の心の歴史をひもとく
中城の伝説・昔話
中城村教育委員会では、島建て伝説に始まり、門中と家、行事の由来、昔話、笑い話など興味をそそる内容が満載!
定価 二千円(消費税込み)
生涯学習課
89513707

悪徳商法と不法投棄を許さない
悪徳商法
公民館などにお年寄りなどを集め、日曜雑貨や食品などを無料又は無料同然で配り、「もらわないと損」というような一種の催眠状態をつくりだし、最後には市価より高額な商品の売買契約を結ばせる商法です。(ハイハイ学校ともいう)
不法投棄
廃棄自動車や家電製品などを不法投棄する人が増えています。
迷わずに相談してください。
宜野湾警察署生活安全課
89810110(253)

ピッカピッカの一年生



中城小学校と津覇小学校で
4月9日入学式が行われました。
「さくら咲いたら一年生・・・」の
曲が流れるなか、中城小学校では
95名のピッカピカの一年生が六年生
に手を引かれて入場。
米須清雄校長は「お絵かきや
歌の勉強もあります。
そして、おいしい給食もあります。
きつと、小学校が
好きになるでしょう」とあいさつ。
新入生は「勉強も、運動も
がんばります。
よろしく願います」と
宣誓であいさつを行いました。

フォトニュース

お母さんに感謝の気持ちをこめて



「ギビ畑の中のオーケストラ」として
1980年に結成された
中城ジュニアオーケストラは
お母さんに感謝の気持ちをこめた
第21回母の日コンサートを
5月13日、吉の浦会館で開催した。
会場を訪れたお母さん方には
カーネーションが贈られたあと
「アルルの女」第2組曲、「カルメン」
などが演奏されました。
今年のコンサートには、
具志川ジュニアオーケストラと
宮里小学校音楽部が
ゲストとして出演しました。

万国津梁の書を寄贈



中城村伊集在住の
新垣宗徳さんは、4月3日
自ら書いた「書」を
中城村へ寄贈した。
「書」は、「万国津梁の鐘」に
刻まれている銘文が
書かれている。
新垣さんは「中城城跡の
世界遺産登録を自分なりに
記念に残したかった」と
話した。

憲法講演会を開催

今年で15回目を数える
村主催の憲法講演会が、
5月3日の憲法記念日に
開催されました。
講師は沖縄人権協会事務局長で
弁護士永吉盛元氏で
「日本国憲法が伝える大切なこと」と
題して講演を行った。
永吉氏は「武器を持たないと
宣言した憲法はどこにもない。
このような憲法は大切にしたい」と
話した。
会場ロビーでは、「原爆パ
ネル展」も同時に行わ
れ、参加者たちは
改めて戦争の悲惨さを
知った。



仲村清秀さんが チャリティーコンサート

村出身の演歌歌手仲村清秀さん
(南上原)が、4月22日、
中城城跡の世界遺産登録を
記念したチャリティー
コンサートを開いた。
コンサートには、
数多くの友人も
友情出演し、
会場を埋め尽くした
800人余の観衆が
仲村清秀さんの演歌に
魅了された。
コンサートでの収益金は
社会福祉協議会と中城城跡共同管
理協議会に寄付されました。

